

高齢者虐待問題について、業界の様々な立場の有識者に意見を聞く連載企画。今回は、高齢者住宅分野のシンクタンクである、タムラプランニングアンドオペレーティング田村明孝社長に話を聞いた。

## 連載第7回



ニブランディング  
ランドイング  
フランドイング  
ラティ  
ムグ  
レー  
田村明孝社長

——高齢者住宅での虐待問題の要因は、どこにあると考えられますか。

田村 高齢者住宅での虐待は以前よりありましたが、それを考えると、業務の密度性の高さやスタッフのストレスなど、介護業務・職務の性格に起因するのではないかと

因する点があります。

また最近、虐待が増えていると言われるのは、単純に高齢者住宅の数が増えたこともありますが、高齢者住宅の数の増加に介護業界

せん。

——事業者の行き過ぎた業務拡大に問題があるのでしょうか。

田村 「介護業界で人手が足りなくなる、この先も足りない」ということは以前からわかっていたのですから、それを踏ま

えた段階をすべきでした。数字を追いかけるだけの事業拡大を図ったことが、現場の人手不足と

無理な採用活動

によるスタッフレベルの低下を招いたといえるでしょう。ただし、民間企業が介護事業を手掛けること、それが事業

## インタビュー 高齢者虐待問題 私はこう考える

# 人員配置要件、見直しを

を拡大し利益を過及する個々の保有資格やスキルことは否定されるべきではありません。大都市圏を中心にとした高齢者住宅を、また、介護ロボットやICT機器などを活用

数多くの高齢者住宅を開設できる力をもった事業者の存在が必要で、——虐待を防ぐには、何が必要でしょうか。

田村 人手不足の解消です。特定施設の「3対1」などといったような人員配置要件は見直すべきです。こうした仕組みがあるから事業者は「あと何人スタッフが必要」という数合わせの人材確保思考になり、結果的に「誰でもいい」と適当や業種に欠ける人材を雇用することにになります。事業者

を拡大し利益を過及する個々の保有資格やスキルなどは、大都市圏を中心にとした高齢者住宅を、また、介護ロボットやICT機器などを活用数多くの高齢者住宅を開設できる力をもった事業者の存在が必要で、——虐待を防ぐには、何が必要でしょうか。田村 人手不足の解消です。特定施設の「3対1」などといったような人員配置要件は見直すべきです。こうした仕組みがあるから事業者は「あと何人スタッフが必要」という数合わせの人材確保思考になり、結果的に「誰でもいい」と適当や業種に欠ける人材を雇用することにになります。事業者